

B A S T L



TEA KICK

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

TEA KICK

MORE THAN JUST DRUM

BASTL INSTRUMENTS「**TEA KICK**」は、“アナログのTWIN T レゾナント回路”による、ナチュラルなドラムサウンドが特徴のユーロラック・モジュラーです。

「**ATTENUATOR ノブ付の CV 入力**」と「**TUNE ノブ**」により、アコースティック・ドラム同様のピッチ・チューニングが可能に。キック〜タム、ウッドブロックまで、多彩なドラムサウンドをクリエイトできるよう考え抜かれています。さらに「**CLICK TUNE ノブ**」では、ドラム・スティックがヘッドをヒットした時のリアルなアタック音を加えられます（CLICK 音のみの個別出力も装備）。

また、「**RESONANCE コントロール**」で長いディケイのドラム・サウンドを作り出せます。さらに「**RANGE スイッチ**」によってセルフ・オシレートさせることで、TEA KICK をベース帯域のVCOとして利用することも可能にしています。

通常の「**OUTPUT**」に加え、「**SQUARE**」出力から矩形波を同時出力できるので、2つの出力をミックス、または個別に使用することで、インダストリアル的で過激なドラム・ビートを生み出すことができます。

「**WTF**」は、本機のTwin T回路を応用した特殊なウェーブシェイプ&バンドパス・フィルター機能です。「**WTF IN**」にサウンドを入力すると、「**OUTPUT**」から奇妙に歪められた、バンドパスフィルター的効果のサウンドが得られます。TUNE/RESONANCE/CLICKなどのコントロールがフィルター要素を変化させます。WTF INにオシレーターを入力して、CV入力でピッチをモジュレートすると、独特な歪感とレゾナンスを持つ、カッコいいサウンドがクリエイトできます！「**SQUARE**」出力からは更にアグレッシブで病的なサウンドが出力されます。

5HPのスペースから、CVでピッチ・チューニング可能な、各種ドラムサウンドや矩形波、ベースサウンドVCOまで、多彩なサウンドを作り出すことができ、さらにWTFフィルターやウェーブシェイプ、フィードバックを活かした音作りまで可能となります。BASTL INSTRUMENTSならではの個性的なイメージーションが盛り込まれた「ドラムサウンドを超えた」傑作モジュールです。

Features

- ・ ドラム・サウンド・ジェネレーター
- ・ ピッチコントロール (TUNEノブ)
- ・ CVインプット w/アッテネーター・コントロール
- ・ レゾナンス・ノブ
- ・ レゾナンス・レンジ・スイッチ (セルフ・オシレーションが可能)
- ・ クリック・チューン・ノブ
- ・ クリックの独立アウトプット
- ・ バッファード・アウトプット
- ・ 矩形波アウトプット
- ・ トリガー・インプット
- ・ WTFインプット (バンドパス・フィルター風のストレンジな効果)

Technical details

- ・ 5HP
- ・ 35mm deep
- ・ 消費電流 +12V: <15mA, -12V: <15mA
- ・ 16ピン・パワー・コネクタ

Beyond the Drum

TEA KICK は想像以上のドラムサウンドを生み出せるドラム・モジュールですが、その枠に収まりません。多彩で実験的なオシレーターとしても、独創的な WTF フィルターとしても利用することができます。外部の VCO を利用して、出力と入力でフィードバック・ループを形成する実験的な手法はいくつか考えられます。特に、外部 VCO を TRIGGER に入力して、OUTPUT と WTF IN をパッチ、CV 入力でピッチを可変させ、SQUARE 出力をモニターした場合の強烈なサウンドは一度聞いたら忘れられないほどです。

これほど楽しめるドラムモジュールは他には見当たらないでしょう！

《重要な注意事項》

本モジュールをユーロラックの電源フレームラックに組み込む場合には、必ず電源ケーブルを電源フレームラックから抜いた状態で行ってください！また接続には必ず付属のリボンケーブルをご使用ください。接続する際はコネクタを接続する向きを絶対に間違えないように、細心の注意を払ってください。必ず複数回確認し、間違いないことをお確かめいただいてから接続するようにしてください。

赤いケーブルがモジュール、バスボード共に-12V側です。

以下を再度ご確認ください

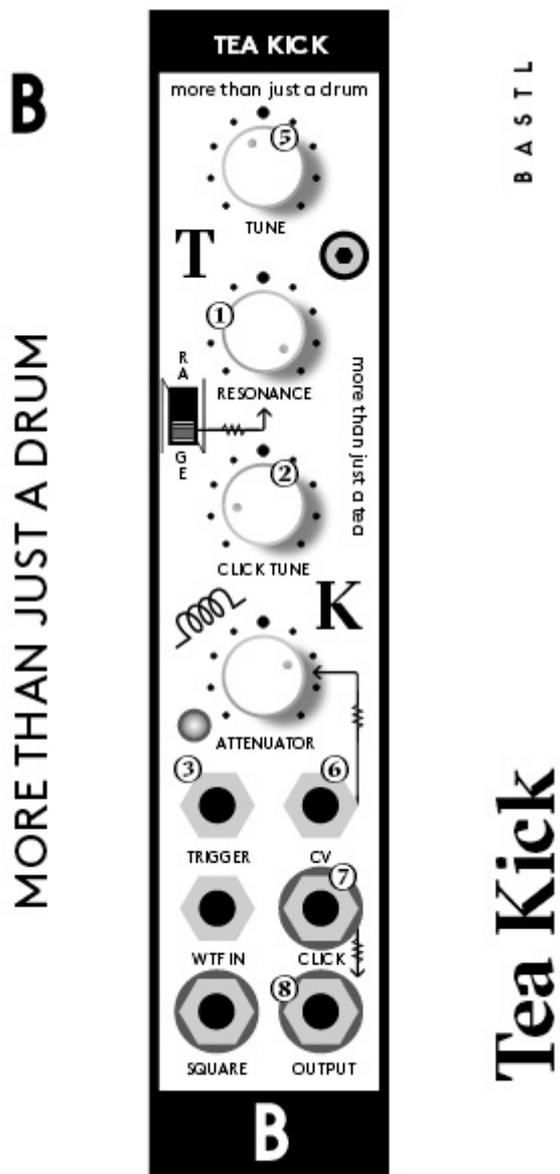
- 1、ラックがユーロラック規格の標準的なものか？
- 2、+12V、-12Vレールのバスボード規格か？
- 3、電源レールは最大の消費電流を超えていないか？

BASTL INSTRUMENTSの製品にはPTCヒューズとダイオードによる保護回路を搭載していますが、間違った接続や使用によるダメージはユーザーの責任となりますので、よくご確認の上でご利用ください。また電源が入った状態で回路や電源バスを手で触れることは、たいへん危険ですので、くれぐれもご注意ください。



Instruction

*以下の操作説明は、各イラスト図（フロントパネル、基板）の番号に対応しています。



① RESONANCE コントロール・ノブです。ピッチ・チューニングにも影響します。RESONANCE を上げていくとサウンドは低い音程にシフトし、ディケイも長くなります。レゾナンスの RANGE スイッチを上側にすると、セルフ・オシレートが発生し、VCO として使用することも可能です。

② CLICK TUNE は、トーン・コントロール付きのクリック・ジェネレーターとして使用できます。CLICK TUNE ノブのコントロールはTwin T回路全体のトーンにも影響し、サウンドにドラムスティックがヒットした時のアタック感をOUTPUT出力に加えられます。また独立した個別のCLICK出力も用意されています。

③ TRIGGER 入力です。トリガーするとLEDが点滅します。オーディオレートのオシレーター出力を、このTRIGGER入力に入力すると、出力からウェーブシェイピングされたサウンドを得ることができます。

④ Twin T回路はバンドパス・フィルターに似たキャラクターで動作させることもできます。WTFインプットにサウンドまたはオシレーターを入力しOUTPUTを聴くと、興味深い実験的なフィルター効果のBASTLらしいサウンドを楽しむことができます。

⑤ TUNEコントロール・ノブはピッチを調整します。CVインプットとATTENUATORノブも同じくピッチに影響します。CVインプットによってベースドラムから、タム、ウッドブロックのようなサウンドまで、幅広いレンジのサウンドをTEA KICK一台で作成出すことができます。

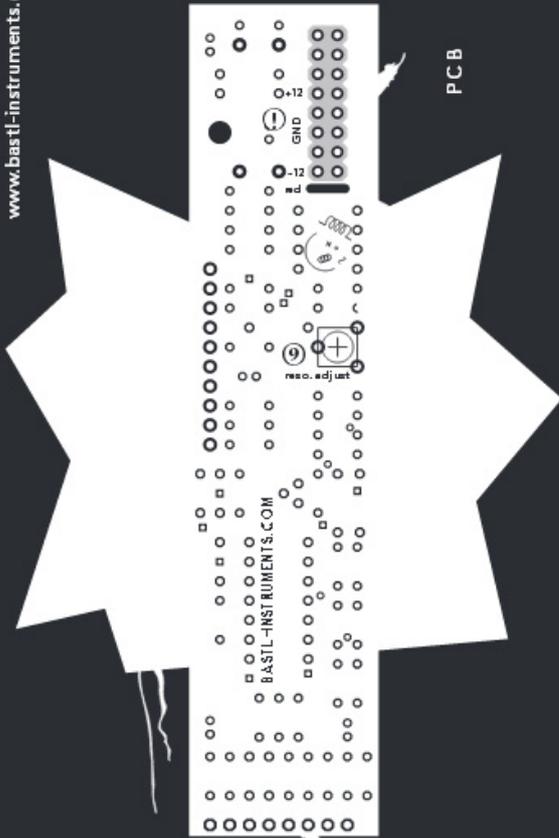
⑥ CVインプットは、ATTENUATORコントロールとTUNEコントロールで作られたボルテージで最終的なピッチ・コントロール・ボルテージを作り出します。

⑦ CLICKアウトブットはクリック音を個別に出力できます。個別に使用したり、他の実験的な試みに使用できます。

⑧ Tea Kickはバッファード・アウトブットを持ちますが、それとは個別に矩形波で出力できるSQUAREアウトブットも装備しています。過激なサウンドメイクやベースサウンド等にも最適です！

⑨ レゾナンス調整のトリマーが基板上にありますので、レゾナンスのレンジを微調整することが可能です。

www.bastl-instruments.com



PCB

Take it Carefully